



わかくさ



vol.123



TOPICS

- わかくさ竜間リハビリテーション病院 VF装置(外科用X線装置)が新しくなりました ●
- 若草第一病院 提携駐車場のご案内 ●
- 地域の救急医療をより良くするために 一若草第一病院は救急医療を強化していますー ●



【わかくさ竜間リハビリテーション病院 VF装置(外科用X線装置)】

※本誌に掲載されている写真について、
感染対策には十分配慮し撮影しております。

社会医療法人 若弘会

Wakakoukai Health Care Corporation

わかくさ竜間リハビリテーション病院

VF装置(外科用X線装置)が 新しくなりました

わかくさ竜間リハビリテーション病院
診療放射線技師 森清 孝育

島津製作所製 OPESCOPE ACTENO



ココが、
ポイント!

新VF装置の性能

- ✓ 透視画像・音声そしゃくおん(咀嚼音)の連動
- ✓ 被ばくの低減
- ✓ 画質の向上
- ✓ 操作性の向上



VF検査(嚥下造影検査)とは

VideoFluoroscopic examination of swallowing

X線透視下で造影剤を含んだ食品を食べて飲み込む一連の流れを専門的に検査します。病気等で生じた摂食嚥下障害の評価を行い、リハビリテーションの効果の確認や生活機能における「食べる」ことへの改善に繋がっていきます。歯科医師を含んだチームにて、食品の性状や食べる姿勢、食べ方を確認し、安全な食生活を送っていただけるよう対応しています。また、嚥下状態により胃瘻造設の必要性の有無等も検査しています。

この新しいVF装置を活用し、これからも患者さんの口から食べる喜び・楽しみ、生活の質(QOL)の向上に努めてまいりたいと思います。



お問い合わせ先

わかくさ竜間リハビリテーション病院

TEL 072-869-0116

提携駐車場ののご案内



左車線から
神田町交差点
を左折

右折レーンから
神田町交差点
を右折

6月1日より、当院北側にございます平面駐車場
(コインパーキング)との提携を開始しました！

○外来診察のためご来院の方

200円/時間 (最初の2時間は無料)

○面会、入退院でご来院の方、関連機関、納品業者の方

200円/時間 (最初の1時間は無料)

※ 駐車後、先に精算機にて**利用証明書**の発行をお願いします。お帰りの際に**本館1F受付**(夜間・休日
は**北館1F受付**)にご提示ください。駐車サービス券をお渡します。



その他詳細はホームページをご覧ください



若草第一病院ホームページ「駐車場ののご案内」

地域の救急医療を より良くするために

— 若草第一病院は救急医療を強化しています —

若草第一病院は近隣の医療機関や救急隊と密に連携し、救急搬送を受け入れ治療にあたっています。昨年は4,716件の救急搬送がありました。また、230床という中規模の二次救急でありながら特定集中治療室やハイケアユニットを有し、月平均40例以上の重症の患者さんを受け入れています。

コロナ禍の救急外来は発熱対応の部屋調整等に時間がかかり即時対応が難しい状況でしたが、5類になってからは元どおり速やかに受け入れできる体制になっています。さらに今年度4月からは救急科1名、脳神経外科2名、麻酔科1名の医師をむかえ、救急外来体制を強化しております。今回は地域の医療機関や救急隊からの要請の窓口となって受け入れ調整を行う地域連携課より、当院の救急医療と新任の医師をご紹介します。

◎救急科

救急科に着任された山本克己医師は北九州出身の九州男児です。大学卒業後は麻酔科蘇生科医として勤務され、その後大阪市立大学(現大阪公立大学)医学部附属病院救急科で救急医としてキャリアを積んでこられました。そのキャリアを生かして救急対応だけでなく麻酔科医として手術に入るなど、非常にバイタリティのある先生です。患者さんの安全第一を常に心がけて従事しておられ、とても頼もしい存在です。



救急外来

◎脳神経外科の救急では新任医師2名を迎え、充実を図っています！

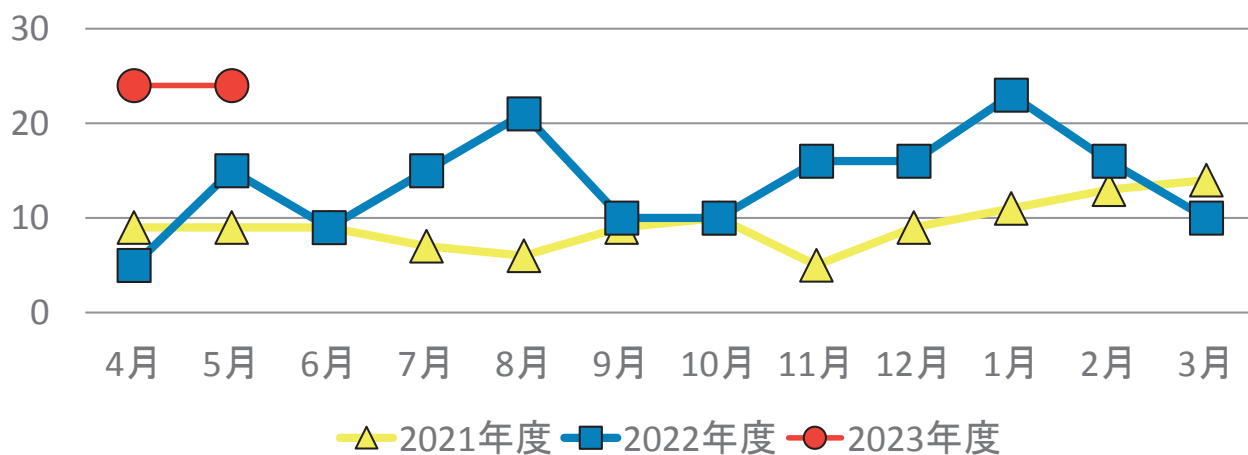
松井雄一医師は、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷を中心とした幅広い脳神経外科救急疾患の臨床経験を積んでおられ、血管新生に関する研究にも取り組まれています。外科的手術と血管内治療、両方の治療方法を熟知し患者さんの病態に応じて最適な治療が提供できるよう追及されています。脳卒中ホットラインを積極的に受け入れてくださっています。

堀井亮医師は、脳神経外科領域全般にわたり広く研鑽を積み、特に脳卒中や重症頭部外傷などの救急医療や血管障害に対しての血管内治療を数多く経験されています。お二人ともフットワークがよく、脳神経外科病棟の雰囲気も明るく活気が出ています。

昨年2022年の
脳卒中ホットラインの
件数実績は過去最高と
なりました！

若草第一病院で救急医療の中心的な役割のひとつを担っている脳神経外科は脳卒中センターの指定を受けております。脳梗塞の発症から治療開始までの時間ロスを可能な限り減らすため、24時間、365日、地域の医療機関や救急隊から脳神経外科医に直通電話にてコンサルタントできる、脳卒中ホットラインの体制を整えています。（一般の方はご利用いただけません。）

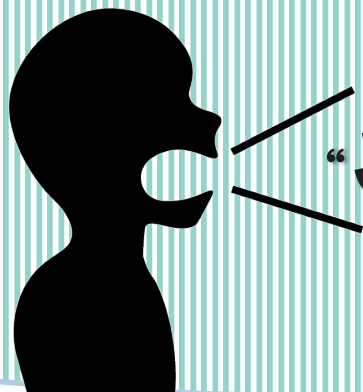
脳卒中ホットライン件数



脳神経外科 アンギオ(血管撮影)検査

当院では救急搬送依頼を断らない方策のひとつとして入院調整専従の看護師を配置しています。病床を効率よく運用し空きベッドを確保していつでも救急搬送を受け入れられるようベットコントロールに努めています。地域に求められる病院になるために救急外来を強化しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

若草第一病院 地域連携課



“ことば”のリハビリに使用する機器の紹介

発音／発語訓練装置 ビジピッチ

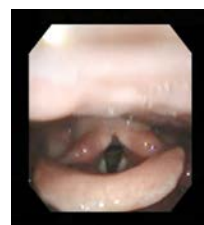
当院では、2023年2月、「発音／発語訓練装置 ビジピッチ」を導入しました。音声障害（声質の異常）や、構音障害（口や舌の動きの問題で、正しく発音が出来ない状態）など、様々な言葉のリハビリテーションに対応しています。



Visi-Pitch 3950c (PENTAX MEDICAL社)

音声障害

音声障害とは、声を生み出す声帯の異常や、声のエネルギーとなる呼気の異常により、声が出しづらくなったり、ガラガラした声など声の質が変化します。原因は、脳卒中や、神経損傷による声帯麻痺、声帯ポリープ、加齢など様々です。



構音障害

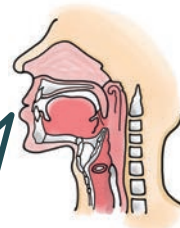
構音障害とは、唇や舌など言葉を発するために必要な器官の形や運動に問題があって、うまく発音が出来ない状態のことをいいます。原因は脳卒中や交通外傷による脳損傷、神経難病、口腔がんの術後、発達性の障害など多岐に渡ります。

例)

「パンダ」 → 「アンダ」

「かかし」 → 「ははひ」

など

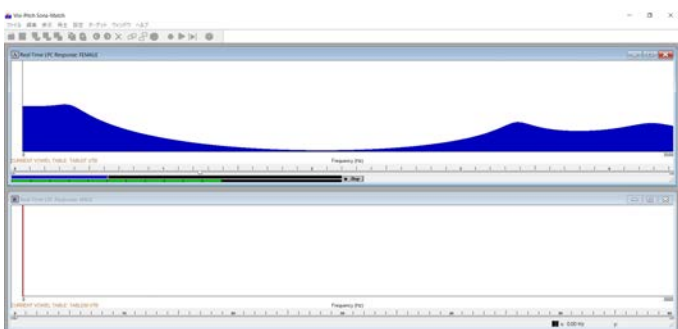


ビジピッチの特徴

ビジピッチでは、音声障害や構音障害の方の声や発話を録音し、音響分析を行ったり、練習を行うことができます。いくつか特徴的な機能をご紹介します。

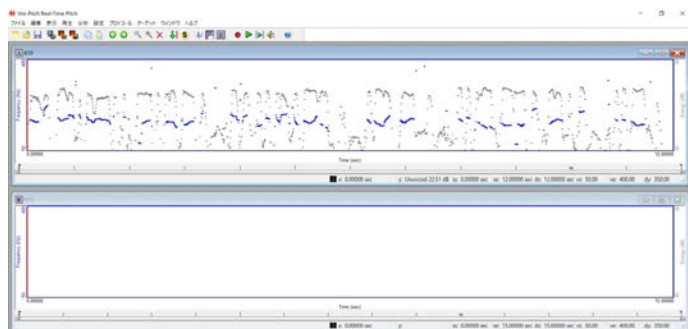
ソナマッチ

口の中での舌の位置による発音の変化を分析します。簡単な操作で発声の練習ができ、視覚的に変化がわかりやすくなります。



リアルタイムピッチ

声の高さ(ピッチ)や声量(声のエネルギー)を表示することができ、発話のアクセントや抑揚のトレーニングができます。



音声ゲーム

ゲーム形式で、声の高さ(ピッチ)や声量(エネルギー)の制御・矯正、持続発声、タイミングに合わせて発声する練習ができます。数種類のゲームがあり、楽しみながら言語訓練ができます。



【ゲーム一例】

花の高さの位置が、声の高さを表しています。同じ高さの声で、発声し続けると鳥が花に向かって飛んでいきます。最後まで同じ高さの声を出し続けることが出来ると、花の蜜を吸うことができます。



鳥が枝にとまっています



「あー——————」

スタート！

飛び続けます

花にたどりついた！

発声発語の評価・訓練

音声障害や構音障害は、言語聴覚士が評価や訓練を行います。様々な評価を組み合わせますが、声や発音などの「音」は、言語聴覚士の熟練の技に頼るところが大部分でした。

ビジピッチの使用により、

- ① 発声や発音の特徴を、データ化することで、より正確な評価を行い、訓練効果など定量的な前後比較ができるようになる。
- ② グラフやゲームなどで視覚的に特徴を把握しやすくなるため、患者さんへの説明がわかりやすくなる。
- ③ ゲーム感覚で訓練を行えるため、患者さんが楽しみながらリハビリテーションを行える。

といった利点があります。

声や言葉にお困りの患者さんが、さらに笑顔でリハビリテーションに取り組めるよう、ビジピッチを活用していきます。

わかきさ竜間リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 久志 優香里

竜間之郷 一日のスケジュール

入所の場合

介護老人保健施設(老健)は在宅復帰を目標に医療、看護、介護、リハビリテーションを受けながら生活する施設です。

今回は竜間之郷 入所サービスで過ごされる利用者さんの1日のスケジュールを紹介します。

※利用者さんによって内容、時間帯は異なります。

6:00

モーニングケア

着替えやトイレ誘導といった朝食を食べるまでの準備のお手伝いをします。



6:30

朝食

朝食の主食はパンとおかゆから選ぶことができます。



9:00

バイタルチェック 入浴 個別リハビリテーション

看護師による体調の確認
入浴はシャワー浴あり(寝たままの入浴が可能)
リハビリ職員による個別リハビリを提供します。



12:00

昼食

管理栄養士が献立を作成した
栄養バランスのとれた食事を提供します。
おひとりで食事を食べることが難しいかたは
食事介助を行います。また胃瘻にも対応しています。
さまざま療養食にも対応できます(糖尿病、腎臓等)。



12:30

口腔ケア

昼食後の歯磨きです。
歯の様子も確認します。

14:00

レクリエーション

タッチパネルを利用した頭の体操のゲーム
リハビリ職員による体操・カラオケ・TV鑑賞等…
毎日行っています。

15:30

おやつ

ようかんやワッフル、プリンなどの
毎日違う種類のおやつを提供しています。

18:00

夕食

昼食と同じく、飲み込みが難しいかたには
きざみ食ややわらかいご飯を提供します。

18:30

口腔ケア

20:00

自由時間

TV鑑賞など各々の時間を
過ごして頂きます。

21:00

就寝



介護老人保健施設 竜間之郷

JR住道駅、JR野崎駅、近鉄生駒駅より
無料送迎バス運行（所要約15分）

住所：大阪府大東市大字龍間1595-7

電話：072-869-0076

FAX：072-869-0068



入所相談、ご質問はお気軽に上記連絡先までご連絡ください。



嚥下食に対応した 行事食の紹介

わかくさ竜間リハビリテーション病院
栄養課

嚥下食とは、嚥下機能が低下した方が安全に食事ができるように、とろみの強さや、口の中でのまとまりやすさなどを調整した食事のことです。



行事食

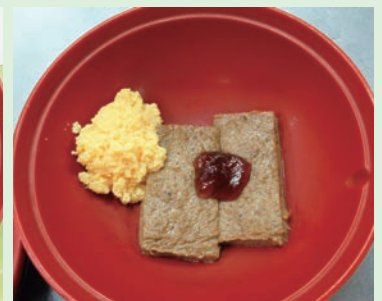
当院では、月二回程度行事食や季節の食事やデザートを提供しています。行事食は、嚥下食にも対応しており、ゲル化剤を用いて見た目を軟菜食へ近づけたり、嚥下食では禁忌となっているお餅も、お粥からお餅のゼリーをすることで、お雑煮や月見団子なども安全に提供できています。

過去の行事食(うなぎ)

軟菜食



ミキサー食



レシピ

お餅ゼリーの作り方

- 1 人数分の生米(10g/人)を計り、粥を炊く。
 - 2 ハンドミキサーである程度米粒がなくなるまで潰し、ゲル化剤がダメにならないように少しずつ加えさらに米粒がなくなるまで潰していく。
 - 3 バットに流して冷やし固める。
- ⚠ 当院ではゲル化剤はソフティアUを使用し、粥の重さの0.8%加えています。その他のゲル化剤を使用する場合は、パッケージを参照ください。個人により適切な固さが異なるため、固さは調節してください。

ご飯に水を加えて炊いても粥になります！

5月はミキサーにかけた餡とお餅ゼリーで、ミキサー食の方も食べられる柏餅を作りました。



夏です！

脱水を予防しましょう！

日本橋老人訪問看護ステーション
看護師 杉尾 理紗

脱水とは体から水と電解質(塩分など)を失うことです。
高齢者は特に要注意！とよく言われますが、なぜか知っていますか？

- ★体液をためるタンク(筋肉)が少ない
- ★飲んだり食べたりする量が減っている
- ★のどの渇きや暑さに気が付きにくくなる

東京消防庁の令和元年のデータでは、
熱中症発生場所は、「自宅」が全体の40.2%を占め最も多く

- 温度コントロール
- 湿度コントロール

で脱水予防をする事が大切です。

特に高齢者は暑さに気が付きにくいので、体感の温度ではなく温度湿度計で客観的に判断しましょう。

環境省によれば、夏の室温は28℃が推奨されています。

これは、「エアコンの設定温度を28℃にする」という事ではなく、「室温が28℃」であるということです。
28℃を超えると熱中症の発生率が急激に上がります。

室内の適切な湿度は40～60%です。湿度が低いと汗が蒸発し体温が下がるのに対し、湿度が高いと汗が蒸発しにくく、十分に体温を下げる事が出来ずに更に汗をかいてしまいます。

同じ温度でも湿度が20%違うと、体感温度は4℃違うと言われています。

<効果的なエアコンの使い方>

室内の温度が設定温度になるまでは「冷房」で最大運転を行い、その後は「自動」や「送風」、「冷房の弱」にして温度を保ちましょう。

誰でも出来る！脱水発見方法

①握手してみる→手が冷たい

脱水症になると、血液は生きていく上で重要な臓器に集まります。
その為、手足等には血液がいかず、冷たくなります。

②舌を見せてもらう→乾いている

脱水になると、口の中のつばが減少して舌の表面が乾いてきます。

③皮膚をつまんでみる→皮膚がつままれた状態から三秒以上戻らない

皮膚には水分がたくさん含まれていて弾力性がありますが、脱水症では水分が減り、弾力性がなくなります。

④親指の爪の先を押してみる→赤みが戻るのが遅い

指先は血管が細いので変化が出やすい部分です。

⑤高齢者のわきの下を確認する→乾いている

通常、高齢者のわきの下は汗によるうるおいがあります。
脱水症になると、汗が出なくなりわきの下が乾燥します。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

この春18名の新人療法士が入職しました。 新入職員の声をご紹介します！

わかさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部 課長 森下 桐雅

新人療法士



社会人となり、少しずつですが環境にも慣れ、患者さんの笑顔に触れてやり甲斐を感じています。今はまだ自立して出来ることは少ないですが、出来るリハビリ技術を増やしていけるよう頑張りたいです。



指導者として新人療法士のリハビリ場面に同行し、関節の動かし方や排泄等の生活訓練、歩行訓練などの効果を高めるために、現場教育に力を入れています。今後も、新人療法士と共に切磋琢磨していきます。



指導者
教育担当 課長

集合教育・個別教育風景

移乗介助の実技指導



移乗介助のコツを掴めたね！

力を入れなくても出来ました！

書類作成の指導



書類の書き方は分かったかな？

簡潔で分かりやすいです！



職場のルール、待遇、安全・感染対策などを学びました。



2023年度の新しい仲間です！

若弘会の介護福祉士の活躍

わかくさ竜間リハビリテーション病院の介護福祉士に
「介護を選んだ理由&やりがいなど」をインタビューしてみました。



わかくさ竜間リハビリテーション病院 若草棟3階
介護福祉士 原田 紗夜

●介護職を選んだ理由は何ですか？

私は中学生の時、吹奏楽部でトランペットを担当し、高校では軽音楽部でドラムに打ち込み毎日がとても充実していました。その当時は、将来の職業について考えることは無かったのですが、漠然と「人と関わる仕事がしたい」と思っていました。そんなとき、介護福祉士をしている母が私に介護士を勧めてくれました。

●印象に残った患者さんとの関わりは何ですか？

患者さんではないですが、私の祖父のことをお話ししたいと思います。昨年、祖父が病気になり他界しました。祖父は入院を嫌がっていたので、母は祖父を在宅で介護し、看取ることを決心しました。その時、訪問看護にもお世話になったのですが、訪問看護師さんたちが祖父に丁寧な接して下さったので、私はとても嬉しく、私もいつかそんな人間になりたいと思うようになりました。祖父が亡くなったときはとても悲しかったのですが、入院を嫌がる祖父の意思を尊重できたこと、母と一緒に寝たきりになった祖父を介護し家で看取れたことに

少し安堵しました。介護経験があったからこそ出来たのだと思っています。

●仕事のやりがいは何ですか？

例えば、介護職が患者さんに関わることで、患者さんの身体が綺麗になったり、「気持ち良かった」と言っていただけたときに、私たちの介護が患者さんの生活においてプラスになっていることを実感できます。それが仕事のやりがいになっています。

●わかくさ竜間リハビリテーション病院のいいところは何ですか？

相談しやすく、助け合えるところが良いと思います。いつも周囲の職員が助けてくれるのでとても働きやすい環境だと思っています。

●仕事の活力は何ですか？

女子バレーボールとプロ野球観戦が好きです。試合観戦以外では、選手の方々が怪我やスランプに陥ったとき、努力して乗り越えていく姿にいつも励まされ、私も頑張ろうという気持ちになります。



ナラティブ

～私の心に残る看護体験～

不安の強い患者さんとの関わりを通して

若草第一病院
南館2階病棟 山本 悠々



私が担当した70代女性Aさんは、クモ膜下出血にて入院となり3度にわたる手術を行い、後日別の手術を控えている方でした。入院時より時折辻褄が合わないことがありましたが、2回目の手術後より夜間になると「リハビリはいつ来てくれるんですか。胃薬をください」など同じ訴えを繰り返されるようになりました。その都度胃薬は処方されていることを説明しましたが理解は得られず、睡眠薬を内服しても睡眠状態にムラがありました。ご家族より、深夜に何回も電話が来て困っているとの訴えもみられました。術後せん妄による症状なのか、高次脳機能障害によるものなのか分からず、私の対応が正しいのか疑問に感じ、認知症ケア認定看護師に相談をしました。その結果、認知症初期には該当しないこと、訴えは不安に関するものが多いことから、抑うつ症状が強いことが分かりました。対応の違いにより混乱・不安を増強しないよう、職員間で言動を統一し、ご家族にも協力していただき、決まった時間に電話での対応をしていただくよう調整しました。

また主治医に相談した結果、睡眠薬と併用して低用量の抗不安薬を処方され、投薬による症状緩和を試みました。多職種での介入後、少しずつ不安の訴えや夜間の電話は少なくなり、一定時間睡眠がとれるようになりました。

Aさんとの関わりを通し、患者さんの言動に隠されたニードを的確にとらえる重要性を再確認することができました。どこかで「認知症だから」「高次脳機能障害があるから」と関わっていたのではないかと、なぜそのような訴え・行動するのかと、原因を追求し介入すれば、早期に不安の軽減やせん妄の予防ができたのではないかと感じました。今回の事例を振り返り、認知症や脳血管疾患により言語表出・実行機能の低下のある患者さんに対し、患者さんが安心して入院生活が過ごせるよう、関わっていきたいです。

これまでの看護経験の中で、今でも心に残っている患者さんとの関わりはどのようなものだったのでしょうか……

アドバンス・ケア・プランニング

在宅医療
日本橋老人訪問看護ステーション 杉尾 理紗



末期がんで自宅に戻って来られた利用者さんがいました。退院後から訪問看護が開始となり、私が初回訪問をしました。その時点では痛みが強く、食事もあり摂れていない様子でしたが、なんとか会話は出来ていました。介護経験のない奥様との二人暮らしでしたが、奥様は介護に意欲的な様子でした。予定では1日1回の訪問だったのですが、利用者さんは自力でトイレに行くのが困難でオムツの使用が必要と思いました。奥様の介護経験がないことを考え、再度、訪問することにしました。今思えば、これも何かの知らせだったのかもしれませんが。

再び訪問し利用者さんを見ると、かなり顔色が悪く、呼吸状態も悪化していました。私は、利用者さんを観てもうすぐ最期の時が訪れると感じました。しかし、奥様はそのことに気づいていませんでした。始まったばかりの介護生活に意気込み、これから一緒に安らかな時間を過ごしていきたいという気持ちだったのでしょう。状態が悪化すると考えないのも無理はありません。そして、奥様の目を見ながら、聴覚は最後まで残るので手を

握って話しかけて欲しいことを落ち着いた口調で告げるように意識して説明をしました。奥様は、私の言葉を聞いた瞬間に泣き崩れ、利用者さんにすがりながら何度も「今までありがとう、幸せにしてくれてありがとう」と声をかけられました。訪問してから約5分後、利用者さんは息を引き取られました。たった1日の関わりでしたが、深い悲しみの中で何度も感謝を伝える奥様の姿を見て、お二人の関係性や想いが伝わってきました。その中で、私は訪問看護師として最大の事が出来たのかと振り返り、胸が痛くなりました。

現在、医療の現場では本人の意思決定を支援するACP(アドバンス・ケア・プランニング)の活用が推進されています。今回の利用者さんは、退院前にACPをした上で自宅に戻って来る選択をされました。訪問初回時に、ACPを通じてご家族の心の準備も同時に行う重要性を学びました。ACPをご家族と行うことで、心の準備に繋がるとも言えます。利用者さんにご家族の両方がその人らしく最期まで過ごしていただくため、ACPIに、より一層力を注いで看護をしていきたいです。

外来表のご案内

若草第一病院 外来担当医表

当院は病診連携のもと、紹介予約を基本としております。
急患につきましてはお電話にてお問い合わせください。

TEL 072-988-1409
FAX 072-982-5425

外来担当医表は都合により変更する場合がございますので必ずご確認のうえご来院ください。

午前診：9:00～12:00

午後診：完全予約制となっており、一部の診察を除き専門外来のみです。

●：紹介のみ、◎：予約制

2023年7月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科		山口 哲央	榎田 智仁	松田 達也	木戸岡 紗弓	中本 貴大	坂上 祐司
		岡本 麻知子	霜野 良弘	賀来 宏司	小谷 晃平	岸野 恭平	
消化器内科	岡田 章良	遠山 まどか 診察時間9:30～12:00	岩田 恵典 親泊 智英	岡田 章良	龍華 庸光	瀨川 哲也 診察時間9:00～11:00	
循環器内科	●◎森 益規	●◎森 益規 診察時間9:30～12:00	●◎北崎 和久 ●◎森 益規	●◎森 益規	●◎北崎 和久	武田 徳弘	
呼吸器内科	棚野 吉弘	-	柏尾 誠	姜 成勲	小川 晃一	-	
小児科	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友 診察日第2・3・5週	-	
脳卒中センター	熊谷 哲也	担当医	松井 雄一	畑中 奈保子	熊谷 哲也	担当医	
外科 緩=外科・緩和ケア	中本 博之	山中 英治	北川 克彦	◎山中 英治 診察時間9:00～10:00	池側 恭洋 田村 地生	緩 小田 道夫	
整形外科	辻本 由美子 国村 大樹	領家 幸治 国村 大樹	-	領家 幸治 辻本 由美子 診察時間9:30～12:00	-	-	
人工関節センター	-	◎原口 圭司	-	◎原口 圭司	-	-	
肩・スポーツ外来	-	-	-	今田 光一 診察時間9:30～11:30	-	-	
形成外科	西山 都 診察時間9:30～12:00	-	西川 侑輝	-	-	-	
皮膚科	-	-	-	担当医	-	-	
婦人科	-	小林 理章	-	小林 理章	-	金森 崇修	
眼科	青松 圭一	福田 全克 診察時間9:00～11:30	青松 圭一	担当医	◎米田 廣美 診察時間9:00～11:00	-	
泌尿器科	林 知行 診察時間9:00～11:00	中川 雅之 診察時間9:00～11:30	林 知行 診察時間9:00～11:00 原田 二郎 診察日第1・3・5週	林 知行 診察時間9:00～11:00	-	三島 崇生 診察時間9:00～11:30	
耳鼻いんこう科	天野 かおり	天野 かおり	天野 かおり	-	天野 かおり	-	
神経内科	-	-	-	◎山口 哲央 診察時間14:00～16:00	-	-	
心臓血管外科	-	-	-	-	●◎長阪 重雄 診察時間13:30～16:00	-	
肩・スポーツ外来	◎今田 光一 診察時間13:00～15:30	-	-	-	-	-	
形成外科	西山 都	-	西川 侑輝	-	-	-	
皮膚科	-	-	-	-	-	-	
眼科	-	-	-	◎予約検査	-	-	
泌尿器科	◎予約診療・検査 診察時間14:00～16:00	-	◎予約診療・検査 診察時間14:00～16:00	-	室田 卓之 診察時間14:00～17:00 (受付時間14:00～16:30)	-	
セカンドオピニオン外来	◎完全予約制です ※月～金曜日で担当医と日程を調整し相談日程をご連絡いたします						

わかくさ竜間リハビリテーション病院 外来担当医表

2023年7月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	内科	佐藤 修一	杉口 茂	園田 智弘	紙谷 富夫	錦見 俊雄	-
午前 9:00～12:00	歯科	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	-

わかこうかいクリニック 外来担当医表

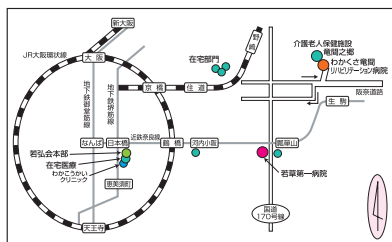
2023年7月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	外来1診	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	池岡 直子	城村 尚登	西口 修平
	外来2診	-	-	西口 修平	-	-	-
午前 9:30～12:00	腹部エコー検査	池岡 直子	-	-	-	-	康 典利(第2・第4)

社団の理念

最高の医療を提供し、
地域社会の健康と健やかな
人生に貢献します

当社は、東大阪市を中心に
機能や特質の異なる施設を擁し、
急性期医療から在宅療養にいたる
医療ネットワークを展開しています。



広報誌 わかくさ 2023年 No. 123

発行：社会医療法人 若弘会
大阪市浪速区日本橋4-7-17
発行日：2023年7月14日

ホームページを開設しています。
<https://www.wakakoukai.or.jp>
e-mail: info@wakakoukai.or.jp



広報誌わかくさの表紙を飾るお写真や
コラム、またご意見、ご感想などがご
ございましたら、お待ちしております。



メールアドレス
QRコード

社団ホームページ
QRコード